

4・5・6年生「学習発表会を参観して」①

学習発表会の感想をお寄せいただきました。一部になりますが、紹介させていただきます。

4年生保護者: 4年生は、言葉がハキハキしていて、とても聞き取りやすく、セリフもよく覚えていて、発表会というたくさんの人の前で、とても堂々としていたのが印象的でした。5年生は、四日市公害をととてもわかりやすく発表してくれて、当時の様子を見ているような感覚でした。6年生は、発表の中でも助け合う心が垣間見られて、ほっこりしました。最後の太鼓の演奏は、迫力があつたのと、入れ替わり立ち替わりに全員が音を狂わすことなく演奏していたのには、さすが6年生だと感心しました。各学年が一生懸命練習してきたことがわかる発表会でした。

5年生保護者: 4年生の発表は、一人一人の声が大きく、伝えたい内容がよく分かりました。最後の「世界がひとつになるまで」の合唱は、音量も音程もバッチリな上、子どもたちの明るく素直な声に、感動して涙が出ました。手話もがんばりましたね。5年生の発表は、全体的にセリフが長く、難しい上に、早口だったので、「自分たちは、じゃあこれからこうしていくんだ!!!」みたいな熱さみたいなものは伝わりにくかったですが、逆を言えば、難しい単語が多いセリフを暗記して、スラスラ言えるまで、たくさん練習したんだろうなと思わせてもらいました。6年生は、外部ティーチャーとの出会いから学んだことをまとめた発表で、内容が盛りだくさんで、長い発表になったにも関わらず、全員が活躍できて、見ごたえのあるいい発表だったなと思いました。最後の太鼓の演奏も迫力があつた、全体的にさすが6年生!!!と思った発表でした。最後の校長先生からのお話も心に残りました。学んだことを、発表して終わりではなく、自分の生活に活かして行ってほしいです。見せてもらってありがとうございます。

6年生保護者: 本当にインフルエンザが不幸中の幸いとなり、練習も、和太鼓にも力が入っていて良かったです。個人的には、今年の4年生のまとまりに感動しましたね。一人一人大きな声で、セリフ忘れもみんなで助け合い、それが見ている私にも伝わってきました。もちろん5年生、そして6年生と大きくなるにつれ、内容もしっかりし、伝えたいものをしっかり主張できるようになってきましたね。それと、やはり13時10分スタートの前の珍しく静かなこと、どうしたのかとびっくりしました。やればできるんですね。低学年も応援してくれていて、ほほえましくなりました。お疲れさまでした。

6年生保護者: 発表会ありがとうございました。どの学年も、自信を持って発表していて、一生懸命練習したのだと感心しました。また、懇談会で、担任の先生から、児童自ら工夫、制作したと聞かせてもらい、発表に対しても、意欲的に取り組むことができたことをうれしく感じました。今回の取組から得た学びと、今後の目標を考えて行ってほしいと思いました。

6年生 いがまち三校交流会 (11/17)

6年生の三校交流会が、柘植小学校を会場に行われました。6年生も初めての対面での交流会であったため、最初は、緊張している様子が見られました。

はじめに、柘植小学校と西柘植小学校という学校の異なる二人の先輩が、どうして今のような互いのことを信頼し合える関係になることができたのか話を聞きました。お二人は、小学校のとき、別のチームでバレーボールを習っていましたが、練習試合などで顔を合わせていたことがきっかけで仲良くなっていったそうです。そんなとき、Bさんは、ある友だちから、Aさんと仲良くしていることを「気をつけや。」と言われたそうです。でも、その時はまだ、Bさんは、あまり熱心に人権の勉強をしていたわけではなかったの、その言葉が何を意味していたのか分かっていなかったそうです。Bさんは、「あのとき、友だちが言ったことを鵜呑みにしていたら、Aさんと今のような関係にはなっていなかったと思う。」と話されました。また、お二人は、「お互いの思いや考えはちがっていても構わない。大切なのは、ちょっと勇気を出して、自分の思いや考えを伝えるようにすることとともに、相手がどんな思いや考えであったとしても、まずは受け止めて、相手のことを知ろうとすることである。」と話されていました。



その後、三校の子どもたちが入り交じった8つの班に分かれて、お二人が話された内容と重ねながら、人権について学んできた中で考えてきたことや思っていること、また行っていることなどを交流しました。友だちの語る言葉を受け止め、自分も何らかの思いを、自分の言葉で返そうとしていた子どもたちも見られ、うれしく思いました。ただ、緊張していたこともあってか、なかなか思いを返せなかった子どもたちもいました。6年生には、自分が勇気を出して語った時に、まわりのなかまがどうであれば、自分は、「言ってよかった」「安心できた」と思えるのか。そんなことを、改めて考えてほしいと思いました。



他の学年の三校交流会ではこれで閉会となりますが、6年生は、小学校で出会う最後の機会であるので、少しでも一緒に過ごす時間を長くもちたいということから、今年は、話し合いをした班のなかまと、一緒に弁当を食べたり、遊んだりする時間をとりました。



今回の交流会をきっかけとして、6年生が、「反差別のなかま」「自分の人権も、相手の人権も大切にするなかま」としてつながっていくことを期待しています。